

協会だより

No. 154

平成22年3月発行



瑞巖寺の岩ツツジ

「消えるまで ゆっくり火の元 にならめっ子」

【平成21年度全国統一防火標語】



新春を迎えて

秩父防火安全協会
会長 雨宮 鹿之助

会員の皆様におかれましては、ご健勝にて平成22年の新春を迎えられたことと、心よりお慶び申し上げます。

平素より秩父防火安全協会の事業運営につきましては、格別なるご理解とご協力を賜り心より厚くお礼申し上げます。

昨年を顧みますと、百年に一度と言われる金融危機は全世界を巻き込み世界同時不況の様相となり、米国自動車のGM・クライスラーが相次ぎ経営破綻するなど経済情勢は急変いたしました。また、メキシコで4月、通常の子節性や強毒性の鳥インフルエンザとは違ふ新型の豚インフルエンザが流行し、世界で多くの尊い命が犠牲となりました。

一方、9月の歴史的な政権交代で鳩山内閣が発足しましたが、日本経済は金融危機の影響を受け低迷し後退局面に入っており、一日も早い元の体制に戻れるよう願うばかりであります。

さて、昨年は国内外で大きな災害が発生しました。南太平洋のインドネシア西部スマトラ島沖やサモイ諸島沖で地震が相次ぎ死者・不明者338人、韓国の射撃場火災では日本人客10人死亡、国内では3月群馬県渋川市の老人ホーム、7月大阪市此花区パチンコ店、11月浜松市マージャン店、東京都杉並区雑居ビル火災が発生、また、自然災害では7月中国・九州北部豪雨、8月に台風9号、10月に台風18号が相次ぎ上陸し各地に豪雨をもたらした人的、物的被害がありました。

一方、秩父広域管内では、災害等による大きな被害はありませんでしたが、火災は43件発生し前年に比べ12件減少しました。当協会に加入している400事業所等において、火災や危険物事故がなかったのは、会員の皆様が日頃から防火・防災に対し、事業所をあげて取り組んでいるからに他なりません。

また、一般住宅への住宅用火災警報器の普及等住宅火災から命を守る活動の輪を広げていきたいと思っています。

当協会としても、尊い生命や財産は地域経済における重要な基盤であるという認識のもと、防火管理の充実を図るとともに、総合的な防災対策を展開していくことが必要と考えております。それには会員の皆様と消防機関の密なる連携があつて達成できるものであり、今後とも皆様のより一層のご協力をお願い申し上げます。

結びに、当協会の益々の発展と会員各位のご健勝とご繁栄を心よりご祈念申し上げ、新年の挨拶とします。



広域消防の強化に向けて

秩父消防本部
消防長 浅見 真一

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、2010年の輝かしい新春を迎え、気持ちも新たにご活躍のことと、お喜びを申し上げます。

また、日頃は広域消防の各種行事を始めとする、消防行政全般に、ご支援ご協力を賜り、心より感謝する次第でございます。本年も更なるご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、新年に入り、去る1月7日には、恒例の秩父広域消防出初式を挙行了しましたところ、雨宮防火安全協会長をはじめとする役員の皆様方にご臨席を賜り、盛大、かつ厳粛のうちに挙行できましたこと、まずもって厚くお礼を申し上げます。

私としては、この出初式の目的の一つとして、秩父広域市町村圏組合管理者であります、久喜邦康秩父市長の点検を受け、消防職員としての自覚と職責を再認識し、個人個人の意識レベルの向上と、意欲を持った職員となるための、新たな決意の場であると、考えております。

我々の任務は、申し上げるまでもなく、地域住民の生命身体及び財産を守ることにあるわけですが、近年の複雑多様化した社会情勢では、何が、いつ、どこで、発生するか解らないのが実情でございます。従いまして、予測のつかない災害はもちろん、あらゆる事件事故にも対応する時代へととなってきておりますので、我々に求められている各種の技術は、当然高度化されてきており、専門的な分野での対応も必要となってきております。また、昨年は新型インフルエンザの感染拡大による救急医療体制の確立も求められ、消防としての新たな取り組みが始まった年でもありました。

幸い、当地域においては、秩父消防の消防力を上回るような大規模な災害や事件は発生しておらず、総じて言えば平穏な平成21年であったとは思いますが、高齢化の進展や一人暮らしの増加など、救急に対する期待は、益々高まるものと予測されます。

従いまして救急救助体制の充実強化にも引き続き努力し、安心安全な秩父地域の防災体制を構築するため、職員一丸となり消防業務を遂行する所存でございますので、引き続きご指導とご協力をお願い申し上げます。

結びに、会員各位のご健勝とそれぞれの事業所等が益々発展をすることをご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



役員県外視察研修実施



寄稿者 後列右から4人目

防火安全協会研修旅行に寄せて

株式会社権田商会 権田博知

新年明けましておめでとうございます。

昨年11月17・18両日に行われた福島会津若松方面の研修旅行の中で、特に印象に残った所に付いて述べて見たいと思う。

最初に案内状を頂き拝見した処、以前から興味があった地熱発電所見学があったため、早速申込みをしました。

私自身、環境関連の仕事一筋40年余り携わり、エネルギーには特に興味を持っておりました。地球温暖化・CO₂削減等、世界中で叫ばれ深刻な問題になっている現在に於いて、最高のエネルギーを発生し、無害で永久に利用できる発電施設。

実際に近づくにつれ、山間の中からもうもうと立ち上がる水蒸気。

あちこちに噴煙の上がる巨大な施設に到着し、現地ガイドの説明によると、地中より取り出した蒸気にてタービンを回した後、冷却塔に寄り、水に戻した後、再び地中深く返して、地中1500m位のマグマに熱せられた蒸気を再び上げて、利用しているのだと聞きました。

帰路の車中にて、同伴した方々との話の中で、地元秩父では火山帯がないため、地理的な面で地熱発電は無理な所だと感じ、逆に秩父の地層を利用したものが無いかなどの話題に尽きない両日でありました。

現在、我々を取巻く経済状況は不況の真っ最中にて、秩父から全国に光明の発信基地になればと出席者からの話でした。

最後に、会津若松市にある野口英世記念会館に寄り、野口英世のDVDを購入し、生い立ちから亡くなるまでの一生を全員で見ながら、改めて博士の偉業に感銘を受け、無事に帰路に着きました。

最後になりましたが、消防長をはじめ職員の皆様の活躍と防火安全協会皆様の御健勝、御繁栄を祈念申し上げます。

移動タンク貯蔵所の立入検査を実施 秩父消防本部

昨年11月26日(木)、長瀨町内において危険物の移送または運搬中における災害を未然に防ぐため、移動タンク貯蔵所の立入検査を実施しました。

立入検査は、秩父警察署員の協力を得て、国道140号線を走行している移動タンク貯蔵所及び危険物運搬車輛を停止させて行いました。いずれの車両にも違反等は見受けられず、安全運行をお願いし終了しました。





秩父ライオンズクラブから 秩父消防本部に 特定小電力トランシーバー12台寄贈

2月4日、秩父ライオンズクラブから秩父消防本部に特定小電力トランシーバー12台の寄贈がありました。消防本部では、早速秩父消防署の各分署に配布し、消防訓練をはじめとする各種消防活動に有効に活用させていただいております。



寄稿者 後列中央

消防大学校研修を終えて

秩父消防署
消防第二課 引間宣行

真夏の真っ只中、去る平成21年8月18日、北は北海道から南は九州鹿児島県まで総員60名の救助業務の専門家達が、それぞれの思いを胸に秘め、東京都調布市の学舎に集結し、10月14日までの約2ヶ月間にわたる寮生活による消防大学校第61期救助科の学生生活が始まりました。

私自身、平成12年に埼玉県消防学校第11期救助科を卒業して以来の学生生活であったため、期待と不安な気持ちが交錯した何とも表現のし難い複雑な心境での入校でした。

しかし、そんな不安な気持ちもありましたが、続々と同じ寮に集まってくる同志も、最初はお互いに腹の探り合いをしていたものの、そこは志を同じくする者同士、打ち解けるのにさほど時間は要しませんでした。

寮生活においては、授業終了後、同期の仲間達が寮室に集い、様々な情報交換をし、時間の経つのも忘れて熱く語らい、消防大学校の仲間としての友情を育み、全国ネットワークを築く場でもありました。

近年、起こり得る災害は大規模化、複雑多様化の傾向にあるのは紛れも無い事実です。そのため、消防を取り巻く環境も一層厳しさを増し、地域住民が消防に求めるニーズは益々増大しています。

救助科で学んだ知識を活かしながら、今後の職務に全力を注ぎ、地域住民の安心・安全の確保と消防行政の発展に努める所存です。今振り返ってみますと、消防大学校での研修は、書ききれないほどの「宝」「財産」「思い出」「貴重な経験」を与えてくれました。入校の機会をくれた、職場と家族に感謝の気持ちでいっぱいです。本当に有り難うございました。

今後、一人でも多くの職員が、消防大学校に入校することができれば、これ以上の喜びはありません。



平成22年 春の火災予防運動

平成22年3月1日(月)～3月7日(日)

重点目標

- 1 住宅防火対策の推進
- 2 放火火災・連続放火火災防止対策の推進
- 3 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
- 4 製品火災の発生防止に向けた取組の推進
- 5 林野火災予防対策の推進



住宅防火 いのちを守る 7つのポイント

— ③つの習慣・④つの対策 —

3つの習慣

- **寝たばこ**は、絶対やめる。
- **ストーブ**は、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- **ガスこんろ**などのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、**住宅用火災警報器**を設置する。
- 寝室、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、**防災品**を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、**住宅用消火器等**を設置する。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、**隣近所の協力体制**をつくる。

平成21年 火災・救急・救助の実態



平成21年 市町別火災統計

主な出火原因

・たき火	9件
・たばこ	5件
・放火、放火の疑い	4件
・こんろ	3件
・ローソク(線香含む)	3件
・電灯電話等の配線	2件
・取り灰	2件
・その他	11件
・不明	4件

火災件数は、平成20年に比べ12件減少しています。このうち、建物火災は8件の減少となっています。

市町別	火災件数											り災棟数			死傷者			焼損面積等			損害額 (千円)				り災世帯数			り災者数
	建物		林野	車両	その他	合計	全損	半損	小損	死者	傷者	建物・m ²	林野・a	車両・台	建物	収容物	その他	合計	全損	半損	小損							
	全焼	部分焼																										
秩父市	1	2	5	4	1	2	8	23	1	2	10	3	305	1	2	21,322	9,758	251	31,331	2	5	24						
横瀬町	2	1	1	1	1	1	7	2	2			143	2	18,727	189	75	18,991	1	1	3								
皆野町		1	1	1	2	5			1	1	1	17	3	1	533	13	160	706			2	2						
長瀬町	1	1			1	3			1	1	1	47			1,054	51	0	1,105	1	1	3							
小鹿野町	2	1	2			5	3	1	1	1	2	436	41	3	7,479	1,160	797	9,436	2		10							
合計	5	3	9	5	4	12	43	6	4	15	3	6	948	45	8	49,115	11,171	1,283	61,569	3	3	10	42					

救急

出場件数は、平成20年に比べ35件の減少となっています。
主な増減としては、交通が30件増加し、急病が66件減少しています。

平成21年 市町別救急出場件数

区分 市町別	出場 件数	不搬 送件数	搬 送 人 員	事 故 種 別										そ の 他			
				火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 等	そ の 他
秩父市	2,580	154	2,465	2		2	246	15	12	353	13	34	1,448	442	2	1	10
横瀬町	335	23	327				53	6	1	56	3	5	203	8			
皆野町	408	22	390	1			62	3	1	53	1	7	205	75			
長瀬町	267	19	258	1		6	46	6		41	3	3	155	4			2
小鹿野町	478	28	458	2			36	3	1	84	3	7	262	76	1		3
その他	1		1				1										
計	4,069	246	3,899	6		8	444	33	15	587	23	56	2,273	605	3	1	15

救助

出場件数は、平成20年と同件数となっています。

平成21年 市町別救助発生件数

区分 市町別	発 生 件 数	救 助 人 員	事 故 種 別									
			火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	
秩父市	57	44	3	7				2	2	3		27
横瀬町	12	5	1	1						2		1
皆野町	12	8	1	4								3
長瀬町	10	5	1	1	2							1
小鹿野町	10	7	2		1		1					3
計	101	69	8	13	3			3	2	5		35

新 会 員 紹 介



UNICUS秩父 管理事務所 支配人 柳 好行

秩父市上野町805-14
TEL 21-5294 FAX 21-5296

今般、秩父防火安全協会に加盟させて頂きましたUNICUS秩父でございます。皆様にご指導頂きながら、安心・安全のための防災活動に施設全体で励んで参りますので、何卒宜しくお願い致します。また、秩父全域に渡るような大規模な震災や被災が発生した場合は、当施設で対応できる救済活動を積極的に行って参りますので、秩父防火安全協会会員の皆様達と是非、協力体制を構築させて頂きたいと存じます。



株式会社 ヤオコー 秩父上野町店 店長 永井 薫

秩父市上野町805-14
TEL 21-2311 FAX 25-5522

この度、秩父防火安全協会に入会させて頂きましたスーパーマーケット 株式会社ヤオコー秩父上野町店です。「毎日の、日常の食生活に変化をつけられる商品や情報を提供出来る」店づくりを目指し、味と鮮度と品質を追求し、お客様に喜んで頂けるよう頑張ります。防火管理の徹底に努め、事故のないようにしてまいります。今後ともご指導頂きますようお願い申し上げます。



有限会社 カサハラ 代表取締役 笠原 篤二

秩父郡小鹿野町下小鹿野867-5
TEL 75-0985 FAX 75-1905

この度、秩父防火安全協会に入会させて頂きました。有限会社カサハラです。当社は、MC・CNC旋盤による精密金属加工をしております。ISO9001：2008品質マネジメントシステムを取得、自動車エンジン部品を初め、空圧部品などを手掛け、材質もSUS・アルミ・真鍮・特殊鋼など多品種、加工径はΦ6.0～Φ60.0まで加工致します。今後は、一員として防火管理徹底に努め、事故の無いよう努めたいと思います。

..... お知らせ

◇危険物取扱者試験

平成22年2月4日現在

回数	種類	試験日	試験会場	受付期間
第1回	全 類	5月30日(日)	川越市	4月15日(木)～4月26日(月)
第2回		7月25日(日)	川越市	6月21日(月)～6月30日(水)
第3回		8月1日(日)	深谷市	
第4回		9月26日(日)	草加市	8月24日(火)～9月2日(木)
第5回		10月31日(日)	川越市	9月21日(火)～10月1日(金)
第6回		12月19日(日)	草加市	11月8日(月)～11月17日(水)
第7回		平成23年2月27日(日)	川越市	平成23年1月17日(月)～1月27日(木)

※日程・試験会場は変更となる場合があります。

◇消防設備士試験

平成22年2月4日現在

回数	種類	試験日	試験会場	受付期間
第1回	全 類	8月29日(日)	川越市	7月16日(金)～7月28日(水)
第2回		平成23年2月6日(日)	草加市	12月22日(水)～平成23年1月7日(金)

※日程・試験会場は変更となる場合があります。

◇甲種防火管理新規講習会

講習日	講習会場	講習案内及び受付
6月中旬を予定	秩父消防本部	講習案内通知及び受付は、5月を予定しています。